



## 平和首長会議 **Mayors for Peace**

【事務局】

〒730-0811 広島市中区中島町1番5号

(公財) 広島平和文化センター国際部平和連帯推進課内

TEL : 082-242-7821 Fax : 082-242-7452 E-mail:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

### メッセージ

「アースキャラバン2016」に御参加の皆様が広島市を訪問されるに当たり、メッセージをお送りいたします。

戦後70年の節目に当たる2015年夏に初めて開催された「アースキャラバン」は、今年、訪問地を更に拡大し、平和のメッセージを届けられると伺っています。核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う119万広島市民を代表して、この活動に尽力しておられる関係者の皆様に心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

1945年8月6日、広島は一発の原子爆弾で焦土と化し、幾万という人々が炎に焼かれ、その年の暮れまでに、かけがえのない14万もの命が奪われました。辛うじて生き延びた人々も人生を大きく歪められ、深刻な心身の後遺症や差別・偏見に苦しめられてきました。核兵器は非人道の極みであり、「絶対悪」です。

その「絶対悪」は、いまだに1万5千を超えて世界に存在し、人類の生存を脅かしています。核兵器が存在する限り、いつ誰が被爆者になるか分かりません。

人は、国籍や民族、宗教、言語などの違いはあるものの、同じ地球に暮らし、一度きりの人生を懸命に生きています。人として「共に生きる」ために、私たちは、核兵器による非人道的な脅しではなく、人と人との繋がりを大切に未来志向の対話ができる世界を築く必要があります。

私たちは、世界中の人々が、被爆者の「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という切なる思いを受け止め、共に行動するよう訴えています。辛く悲しい境遇の中、怒りや憎しみを乗り越え、人類の未来を見据え紡ぎ出した、この悲痛なメッセージは、様々な違いを越えて人々を一つにする原動力となります。161か国・地域の7,000を超える加盟都市で構成される平和首長会議も、この被爆者の思いを受け止め、国境を越えて力を結集し、2020年までの核兵器廃絶を目指して核兵器禁止条約の交渉開始に向けた流れを加速させるために全力で取り組んでいます。

今、国際社会において、核兵器禁止に向けた法的枠組みの必要性の認識が拡大しています。今後、その実現に向けて、各国の為政者に被爆者の思いを共有し対話を重ねるよう促していく必要があります。それを後押しする私たち都市やNGO、市民等の役割がこれまでになく重要になります。そうした意味で、皆様が、「アースキャラバン」を通じて核兵器のない平和な世界の実現を世界各地で訴え、共感の輪を広げておられることは誠に意義深いことであり、皆様には、引き続き「絶対悪」である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向け、共に力を尽くし行動して下さることを心から期待しています。

終わりに、「アースキャラバン2016」の御成功並びに御参会の皆様の今後ますますの御健勝と御多幸を心よりお祈りいたします。

平成28年(2016年)4月22日

平和首長会議会長

広島市長 松井 一 實